

山岡捷利教授 学術論文等目録

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
(論文) コンプレ小論	単	1972年3月	明治大学文学部紀要 『文芸研究』No. 27	『失われた時を求めて』のなかの〈コンプレ〉を全体との関係で考察。
迷宮としての『失われた時を求めて』	単	1976年12月	千葉大学教養部紀要 A-9(下)	錯綜している感のある『失われた時』を〈七〉なる数字で整理した。
割れない鏡—マチス小論	単	1983年12月	千葉大学教養部紀要 A-16(下)	マチスの絵に絶えず現れる窓=絵の意味の考察。
ヴィドック・メモ(I)	単	1987年3月	千葉大学教養部紀要 A-19(下)	バルザック等の小説のモデルで有名な人物の素描。
ヴィドック・メモ(II)	単	1988年3月	千葉大学教養部紀要 A-20	aventurier(山師)としてのヴィドック像。
はやり歌とことば	単	1988年4月	明治学院大学『言語文化』No. 5	公開講座で述べたもの。大陸ソングの系譜。
ジャズ、サーカス、バルトの場合	単	1990年3月	明治学院大学『言語文化』No. 7	ロラン・バルトの生理の動きに焦点を当てた。
ウォノーと呼ばれた男	単	1991年7月	福武書店	翻訳『トリックス』に付した、日本未紹介の作家ルノー・カミュの作家・作品論。
はやり歌とことば(二)	単	1991年12月	千葉大学教養部紀要 A-24	はやり歌にある別れの形態について。
はやり歌とことば(三)	単	1993年3月	明治学院大学『言語文化』No. 10	中島みゆきにおける現実から表現としての古典および観念性への道筋を辿った。
あるエレジーについて	単	1993年12月	千葉大学教養部紀要 A-25	ルノー・カミュの「誰かのためのエレジー」論。抄訳も含む。
はやり歌とことば(四)	単	1994年12月	千葉大学教養部紀要 A-26	日本の歌のなかでは稀な快樂を中心に据えた井上陽水についての論考。
はやり歌とことば(五)	単	1995年3月	千葉大学外国語センター『言語文化論叢』No. 1	聴く側の過去を呼び起こす、永き不在のような死に方をしたひばり像の考察。
袋の内側について	単	1996年3月	千葉大学外国語センター『言語文化論叢』No. 2	表現の内と外について。

ナルシシズムの 彼方	単	1997年3月	千葉大学外国語センター『言語文化論叢』No.3	エルヴェ・ギベール論。
不在の彼方	単	1998年3月	千葉大学外国語センター『言語文化論叢』No.4	西洋と日本における戦後の存在論の変化について。
デュラス・ノート	単	1999年3月	千葉大学外国語センター『言語文化論叢』No.5	デュラスの『愛人』について。
風景画のために	単	2000年3月	千葉大学外国語センター『言語文化論叢』No.6	マチスの風景画について。
アリス狩り	単	2000年12月	千葉大学外国語センター『言語文化論叢』No.7	少女から老婆までの女性のイメージを考察したもの。
美食学小論	単	2002年3月	千葉大学外国語センター『言語文化論叢』No.9	食を通して西洋文化を考察。
ゲンスブール・メモ	単	2002年7月	千葉大学外国語センター『言語文化論叢』No.10	フランスの戦後のサブ・カルチャーの旗手ゲンスブールについての考察。
アルコール、ドラッグ、そして表現	単	2003年12月	千葉大学外国語センター『言語文化論叢』No.12	アルコールやドラッグを媒介とした場合の表現の問題を考察。
断章論	単	2004年3月	千葉大学外国語センター『言語文化論叢』No.13	断章の形の単文と文学表現との関係を探ったもの。
ジュネをめぐる断章	単	2005年3月	千葉大学国際教育開発センター『人文と教育』No.1	同性愛や犯罪の問題と絡めたジュネの文学的表現についての考察。
ファッションをめぐる断章	単	2006年3月	千葉大学国際教育開発センター『人文と教育』No.2	ファッションの問題を、主に一九世紀フランス文化との関わりで論じた。
サドをめぐる断章	単	2007年3月	千葉大学言語教育センター『言語文化論叢』No.1	サドの作品について
(辞書) コンサイス和仏辞典	共	1980年3月	三省堂	重信他五名と共編。95年に増補版を刊行。
(翻訳) トリックス	単	1991年7月	福武書店	ルノー・カミュの幻のゲイ作品。

(4)

(教科書)				
その日	単	1975年3月	錬金社	中級用読物
新しいフランス語読本	共	1976年3月	錬金社	初級用読本
夏休みのフランス語	共	1979年7月	錬金社	夏休みの復習用文法帖
十課の読物	共	1988年3月	錬金社	初級用読本
女の顔	単	1993年3月	錬金社	中級用読物
逸話集	共	1994年3月	錬金社	中級用読物
ビリー・バーンズの錨	単	1995年3月	錬金社	中級用読物
(その他)				
『ルソーの世界』について	単	1993年9月	読書人	同名の小林浩による著書の書評
「ルソーとポーランド」について	単	1997年5月	読書人	『ルソーの政治思想—「社会契約論」から「ポーランド統治考」を読む(小林浩著)の書評。